



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞



- * リレー随筆「お元気ですか」
- * 毛虫もかわいくなってね！「講座」②
- * ドングリって楽しいね！佐保台小「自然観察会」
- * プンプンゴマ・セミ太郎作りに熱中！「全国育樹祭」
- * すばらしかった紅葉の大パノラマ！「みたらい溪谷」（11月例会）
- * ならやま（レポート・カラフルな花や落葉いっぱい・日記）
- * 「アオジ」：ならやまの冬鳥で～す！
- * 自然俳句・地域情報
- * 12・1月行事案内・・・新蕎麦祭・忘年会・新春講演会
- * 今月の表紙・ペン画に寄せて

	1
	2
	3
	4
	5
6	～ 8
	7
	9
10	～ 12
	13

リレー随筆 お元気ですか！

古墳巡り

小森 清道

古墳をぶらぶら巡り歩いてもう3年になる。

古墳と言っても被葬者が特定されている陵（みささぎ）が主で、特に「古墳時代」と言われる3世紀中頃から7世紀までの古代日本史を彩る歴代天皇の墓がお目当てである。

最寄りの駅から数キロ離れてこんもり盛り上がった茂みを目当てに歩いて小鳥の鳴き声の出迎えを受けて、御陵の正面にたたずむこの瞬間の厳肅な気分が好きである。

この時代の御陵のほとんどが壮大な「前方後円墳」で周囲の堀に沿ってぐるりと一周すればかなりの運動量となる。心身ともに癒されるのが良い。

大阪・奈良の地は外来の或いは独自の文化が発達し、統一国家の成立の中心地であっただけに古代天皇陵の宝庫でもある。

これまでに第10代崇神天皇から第50代桓武天皇までの39陵（2人は2度即位）を目標として訪ね歩き、ようやく26陵を訪れた。これからもぼちぼち運動の積りで残りを訪ね歩く予定でいる。



馬見公園のダリア



馬見公園のバラ

ガリレオ衛星の見学

井戸 八穂子

11月半ば、兵庫県立西はりま天文台に1泊して天体観測をしてきました。

天文台には日本一大きい反射望遠鏡があります。直径が2mで倍率は300倍だそうです。名前はなゆた望遠鏡といいます。なゆた（那由他）とはインドからきたことばで「極めて大きい」という意味だそうです。10の60乗と広辞苑に載っていました。

この季節は木星が夜空に明るく輝いています。なゆたで見ると木星の茶色い縞模様がくっきりと見えます。木星のまわりにはガリレオが発見した4つの衛星（イオ、エウロパ、ガニメデ、カリスト）が観測できます。しかしなんと木星には衛星が60個もあるそうです！

昼間には別の望遠鏡で太陽の黒点観察をしました。今回は2個の黒点が見えました。N極とS極があるので黒点は常に2つペアで現れるそうです。

5、6歳のころ美しい尾を曳きながら飛んできたイケヤ・セキ彗星を双眼鏡で眺めて以来、星の神秘的な美しさに魅せられています。

来年の春には土星が観察されるそうで、機会があればまた訪れたいとおもっています。

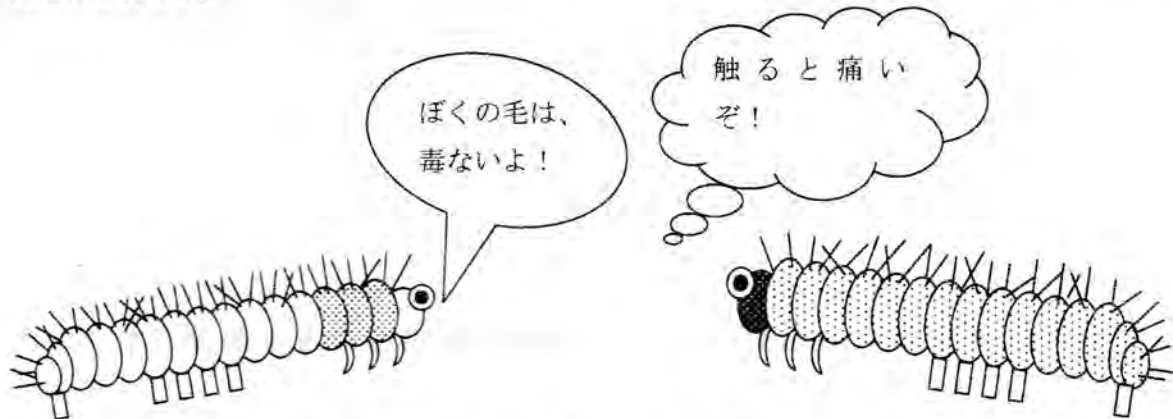
やさしい昆虫講座(第2話)

木村 裕

今回は嫌な虫の代表選手として、毛虫を紹介します。

一般に毛虫と呼ばれている虫は、体全体に毒のある毛が密生している虫、マツケムシ、ブランコケムシ、ドクガ、アメリカシロヒトリ、人によってはイラガ類も含めているようです。

マツケムシはマツ、ヒマラヤスギなどの葉を食べる毛虫で、冬も葉の上で寝そべっているのが、秋に植木屋さんに剪定を頼むと、毛虫がいっぱいいましたという話を聞かされます。マツケムシの親戚にあたるブランコケムシ(マイマイガ)は、5月頃カシ類、ツツジ、サクラの葉を食い荒らします。糸をひいて枝からぶら下がっていることからこの名がついたものと思います。カシ類やサクラには同時期にオビカレハの幼虫も発生しますが、素人の方には区別は難しいと思います。これらの毛虫類はカレハガ類に属し、その毛には毒があり、柔らかい皮膚が毛にふれると痒くなります。顔の皮が厚い人は大丈夫です。



毛虫で一番やっかいなのはドクガ類です。その横綱がツバキ、サザンカ、チャの葉を食い荒らすチャドクガです。5月の連休過ぎから現れて葉裏に一列に並んで葉の片面をかじります。そのため被害を受けた葉は透かし状になって褐色に変わります。見つけたときは鋏でその葉または枝を切り取ってポリ袋にボンと放り込んでゴミとして捨てるのがベターです。毛に触れた皮膚は少し腫れて赤くなり、そのかゆみは天下一品です。まず1ヶ月間のかゆみに悩まされることでしょう。さらに引っかくとひどい傷になって治癒するまでに長い間かかります。対症療法としては、アロエを塗ることで、しばらくの間かゆみが治まります。毛虫は成長する過程で脱皮し、その毛の着いたぬけ殻を葉の裏に残すので、これに触れただけでもかゆくなります。また、この毛が風に吹かれて飛び散りますので風下にいるだけで被害を受けることもあります。それゆえ、虫を取り除いた後、葉裏を調べて脱皮殻のついた葉も取り除くことが被害回避のポイントです。この仲間にはヒメシロモンドクガ、モンシロドクガ、ドクガなどがおり、いろいろな樹木や花木につきますが多発することはなく、触れても少しかゆくなる程度ですので大目にみましょう。

アメリカシロヒトリ(黄褐色)も毛虫の仲間ですが、毛には毒はなく手でふれても大丈夫です。ブラタナス、ポプラ、ヤナギ類、サクラ、ニセアカシヤで大発生し、樹全体の葉を食い尽くして丸坊主にしてきた時代がありましたが、近年は下火になり、大きな被害をだすことはないようです。8月のお盆過ぎからサクラの葉を食い荒らしているのはモンクロシャチホコ(赤褐色または黒色、毒毛なし)と言う蛾の幼虫で、アメリカシロヒトリは濡れ衣です。

毛虫と言えども皆が皆、危ない虫ではありません。人畜無害な毛虫もいますのでかわいがってね。

佐保台小学校 校庭の自然観察会 実施報告

- 10月27日(水)佐保台小学校の放課後教室で校庭の自然観察会を行いました。1~4年生31名の児童が参加し、スタッフは12名が参加しました。
- 「実りの秋 種はどのように運ばれるのかな」をテーマに、エノコログサの遊び、ひつつきむしのダーツ、カエデのプロペラ飛ばし、アケビの実やナンキンハゼのの実の観察、ドングリのクイズなど6つのポイントで、様々な不思議や自然遊びを体験してもらいました。その後はもっくんとドングリちゃんの工作をしました。みんなとても熱心に参加してくれました。
- 今回の大きな目的は、①自然に親しむ、②自然遊びを楽しむ、③楽しい自然工作をする、ということにありましたが、佐保台小学校夢教育プラン協議会の皆さんより、「自然遊びがいっぱいとても楽しかった。工作もびっくりするぐらい夢中になってやっていた。」という感想をいただきました。
- 私たちスタッフも下見やリハーサルそして本番、材料集めや話法の研究などいろいろ準備をしましたが、楽しく実施することができ、本当によかったなという充実感を持つことができました。
- 来年もいろいろな申込みがありそうです。興味をお持ちの方は是非ご参加ください。



(倉田 記)

<癒しの散歩道>



季節の翼に乗って

谷川 萬太郎

過ぎ行く季節の消ゆる想い深く 冬支度に戸惑う鳥や動物たちは寒さに震え
岩の狭間を急ぎ滑る流水のように 長い白い冬が切ない人の背にそっと忍びよる
山里は晩秋を染める紅葉鮮やかに 落葉が舞い華やぐ晚餐に惜別の恋歌が流れて
人の優しさ裏切る北風に嘆くまい やがて鉛色の低い空は雪空に変わるだろうか
疲れ果てた自然よ山や森たちよ さあ眠れよいざ生れ変わる力強い明日のために

第35回全国育樹祭イベントに出展

11月3日（文化の日）、平城宮跡の遷都千三百年祭会場の交流広場の一画で、来年秋に開催される第35回全国育樹祭の1年前イベントが行われました。

森林の役割や重要性、木材利用の必要性や育樹の機運を盛り上げるために、関連協力団体との協働で屋外型体験イベントやシンポジウムが行われ、当会にも奈良県から自然工作の出展要請がありました。

「奈良・人と自然の会」や「いこま棚田クラブ」「日本野鳥の会奈良」「奈良森林インストラクター会」等10団体が、それぞれ趣向を凝らし、ブンブンゴマ、セミ太郎、木工工作、松ぼっくりツリー、竹トンボ、竹笛、丸太切り体験等々を出展し、遷都千三百年祭で平城宮を訪れた人々、特に親子連れを中心に自然工作等を楽しんでいただきました。

開店当初



ピーク時
大賑わい



いつまでも
行列が途切れません



ブンブンゴマ&セミ太郎作りに熱中する子供たち



当日10時過ぎから15時まで、ブンブンゴマ200個、セミ太郎150個をさばき、14名のスタッフ一同、昼食時間が取れないほどの賑わいを見せました。皆さんお疲れさまでした。

(藤田記)

実施 11月8日(月)～9日(火)

参加者 18名(男性10人、女性8人)

近鉄下市口に集合し、洞川行きのバスに
乗車。309号線を54分間南下して天川
川合で下車。天川村みたらい溪谷へのハイ
キングはここから始まる。山々の紅葉と溪
流沿いに次々現れる滝の名所で、その水の
色は翡翠色をしている。

紅葉は今年は少し遅れているとはいえ、山
肌には織りなす錦は見事である。8日は暖か
く上着は要らなかったが日光が少なく、更
に空抜けのもみじが見たいと欲を言う。1
時間歩いて白波立つ溪流と、紅葉の大パノ
ラマを見ながらの昼食。滝の水量も多く、
ところどころ吊り橋を渡りながら、名水1
00選に選ばれた豊満な風景を満喫する。
途中、観音峰登山口でバス道に合流するが、
東屋が建てられており、南朝との関わりを
表す絵物語が描かれている。再び山道に入
り、3時間半かかって洞川に到着。ここは
行者宿が11軒あり、その中の老舗あたらし
や旅館に3時入館。旅館にはすでに2人
が来られていた。

夕食までの間、竜泉寺、面不動鍾乳洞、
かりがね橋、資料館など思い思いに散策。
温泉につかって6時、豊島副会長の挨拶で
夕食。食事はすべて地元で採れた物ばかり。
鹿刺しに始まり、松茸入り土瓶蒸しに至る
まで食べ切れないほどのメニュー。旅館よ
り昨日釣っておいたアメノウオの骨酒が土
鍋でサービスされた。前日に桜井菜の花P
の西田淑子さんより、旅館特製の美酒2本
の差し入れがあり感謝。

夕食後、当旅館の語り部さんより洞川、
天川の歴史や行者の話など造詣の深い話を
聞く。いろいろ勉強されており、どんな質
問も受けて立つ博識である。

この後、男性陣は持ち込みのお酒で懇談
会となる。

2日目、日本3大弁財天の天河大弁財天
社にマイクロバスで参詣。神前で五十鈴を
模した大きな鈴をどう鳴らすか皆が挑戦す
る。芸能の神でもあり、全国より芸能人の
参拝がある。内田康夫著の小説で有名な立
派な能舞台があり、能各派が演じるという。
西側に県天然記念物の大イチョウの巨樹が



あり、色づいて空を覆いつくすようだ。

予定にはなかったが、普段滅多に行けない
栃尾の観音堂に足を伸ばす。円空独特の荒
削りの4体の仏達が小さなお堂に鎮座され
ていて親しみを感じる。母公堂に戻って宿
で用意の行者弁当にする。名水豆腐の味噌
汁とコーヒーの接待をいただく。昨日に比
して今日は寒さが厳しく、暖かいもてなし
がありがたい。大峰山女人結界門までバス
で行き、大峰山山頂、西ののぞきなどを仰
ぎ見る。ここまでずっと語り部さんに説明
をしていただき、当会にふさわしい旅行に
なったのではと感謝である。ここから徒歩
で自然探求路を下る。何か降ってきたと思
ったらアラレである。日本100名水の「ご
ろごろ水」を汲み、蟻螂の岩屋、エコミュ
ージウムを経て旅館に着く。預けておいた
ザックを取って洞川バス停に向かう。風花
の舞うバス停の皆様の顔は笑顔であった。

ならやまプロジェクト・レポート 22年11月

10月26日(日) 曇り 参加者 85名

・黒髪山自然塾と協働 芋掘り大会は、例年抽選するほどの大人気のイベント。今年も児童72人が参加する大盛況でした。ボーイスカウトのスタッフ10人、当会のメンバー10人のリードで、約200株のサツマイモの収穫を楽しんでいました。

10月31日(日)(曇りのち雨) 参加者6名

・雨天予備。またもや怪しい天気、集まったのはたった6人。それでも、里山整備の仕上げの笹刈り、水田の水抜き、梅林の草刈りに汗を流しました。嬉しいことに里山から素晴らしいプレゼント。秋の初成り椎茸が、直径15~20cmのものが何と29本、参加者で有難く頂戴しました。

11月4日(木) 快晴 参加者65名

・赤米のモミすりは、佐保台小学校5年生16人が参加して脱穀とモミすり。古い足踏み式で脱穀を経験した後、最新のコンバインを動かしてみてもその威力に感心していました。
・6年生11人は里山学習で山に入って、里山の勉強です。森の機能を実地に学んだり、里山の手入れを体験したりしました、学校生活のなかでも、印象に残る一頁となったに違いありません。



・赤米の収穫は約90kgでした。記録的な猛暑の影響から量は予定よりやや少なめですが、2年目の田圃としてはまずまずの出来でしょう。
・里山 Gr は「第2期基礎整備」活動がスタート。今

度は観察路以外の林地の整備へと展開します。

・環境 Gr は、3か所の梅の植え床を作りました。

11月11日(木) 晴 参加者 35名

・絶好の小春日和にならやまは盛会。里山整備は、今がベストシーズン。第2期計画がスタートし、男性の大部分はこれに掛っています。農園作業は、女性軍が中心になって玉ねぎ、白菜、青梗菜など冬野菜の手入れです。
・YR 鞍馬大根、水菜、カブなどは収穫期に入って、毎回参加者を喜ばせています。



11月18日(木) 晴後曇り 参加者27名。

・臨時山の日。E地区の整備が捗っています。暫く見ないと路の見当がつかなくなるほどの変わりようです。本日の椎茸は21年のホダ木から良型の60本の収穫がありました。
・そばクラブは蕎麦の脱穀。収量は約10kgですが、この後ゴミ、石抜きをして精選し、水分15%まで乾燥してから製粉します。12月2日の「新そば祭り」に間に合わせようと張り切っています。

11月20日(土) 晴 参加者 28名

・シニア自然大学の実習生7名が参加、そのうち4名は2回以上のリピーター。ならやまの自然と雰囲気すっかり気に入った様子で、皆と一緒に里山で汗を流し、お昼の豚汁に舌鼓を打っていました。本日の収穫は大和芋と里いもの初物でした。

ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

守口 京子

11月18日(木)曇り空に冷たい風、落葉樹からざあっと落ちてきた葉がくるくる舞います。山の色が日毎に美しく変わり、観察路はカラフルなカーペットになりました。

花壇…ノコンギク、ヒメツルソバ、フジバカマ、ヒヤクニチソウ

野山…キツネノマゴ、イヌタデ、チジミザサ、セイタカアワダチソウ、ヤツデ、ススキ、カナムグラ、モチツツジ(びっくり)

実…カキ、カマツカ、フユイチゴ、ハナナス、ヤブコウジ、ヒサカキ、マンリョウ、ツルアリドオシ、ムラサキシキブ、シャシャンボ、ソヨゴ、アラカシ、ノブドウ、ヘクソカズラ

紅葉・黄葉…タカノツメ、コシアブラ、イロハモミジ、オオモミジ、ヤマザクラ、ヤマコウバシ、リョウブ、ハゼノキ、ヌルデ、ヤマウルシ、カマツカ、ツタ、ウワミズザクラ、ネジキ、ウスノキ、コナラ、エノキ、クヌギ、カキノキ、イソノキ

カナムグラはとげだらけの茎を伸ばして生い茂り、嫌われることもありますが、花は葉の下に隠れるようにつつましく垂れて咲き、苞の先は黄緑、根元は赤紫できれいです。

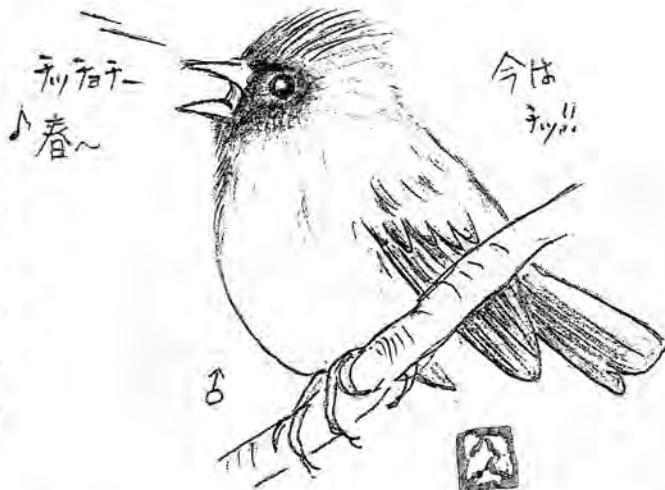


装いは地味でも声は一流アオジ君

小田 久美子

林に入れば暗い木の陰で採餌して鳴いている声で気付きます。スズメより大きな体に似合わない「チッ! チッ!」と小さく呟やくように鳴くので皆さんには「エッ? これ鳥? 虫かと思った」と訝られます。ならやまでも冬鳥で、夏は東南アジアで子育てをしますが、日本の高地でも繁殖していて素晴らしい声で歌ってくれます。鳥見を始めた頃、早春、近所の庭でとても綺麗な囀りが

聞こえ、声の主がああの地味な鳥の渡り前の練習だと分って大変感動したことを懐かしく思い出します。この会で平群の古墳巡りをしたのは3年程前。住宅の木の梢に胸の黄色をお日様に見せて得意顔(?)のアオジを見つけ、歓喜して皆さんにお知らせしたのを覚えていらっしゃいますか? アオジが表舞台に出ているのに遭遇するのはあまりないことなのです。環境庁の鳥類標識調査で最も多く足環を付けられている鳥のようですが、私はアオジの足環をまだ見られていません。暗い所にいるため、声と体の色だけ見て終わってしまう怠慢からでしょう。



11月4日 快晴 ベースキャンプから分けてもらったフジバカマが満開だ。風に運ばれ優しい薫りが気分よくしてくれる。そしてこう言うのです「仲間に“元気にしてるよ”て伝えて」と。駐車場はほぼ満車、降りた途端に目に入ってくるのは大きなツリーが二本！！青空をバックに鈴生りの筆柿がピカピカ赫いて迎えてくれた。田には赤米が干されている、その景色は小学生時代の登下校では左右も背より高く連なっていた事を思い出させる。

朝礼後地下足袋・ヘルメット・鋸と近代的樵となって山作業隊に従う。どうでしょう、何と気持ち良いしかも格好いい森に変身したことか。無駄な木や倒木が除かれその木材が回遊路の両脇に並べられ、キョロキョロしても安全に誘導してくれる。随分明るくなって空間も広くしかも高い、ほんまにええ感じや。今日の作業はJRと国道24号とに平行した一番西側の整備だ。ここはツツジが多いので花を楽しめる様になれば、と森さんのプランで取りかかった。足元には会報11月号で守口さんの記事にあった、キ

ノコが、紫・柿色・椎茸にそっくりさんや15cm位の白く大きいのやらがあちこちで見つかる。これが松茸なら、と皆の思いが伝わってくるようだ。この地は西からの強風か台風によるものか、大変倒木や松枯れが多い、幹がスポンジ状になって今にも倒れそうで危険なもの。変ってるのはソヨゴだ、この木は根張りがあさく浮き上がり東向きに水平に近い状態で谷筋を暗くしている。根幹から太さ10cm位のが5～6本瑞々しい木肌で頑張っていて処分するのが可哀そうだが・・・さて昼食、いつもの様に西谷さんが地産地消の具だくさんの味噌汁を作って下さり、早速七つ道具から椀を取り出し一杯盛る。活動日には水、PL、諸器具等を用意して下さる方々にも感謝感謝です。雲一つない空に針が光る様に東から西へまた反対に音もなくゆっくりと飛行機が。頭上では小鳥たちがせわしく移動しながら柿の食事、たぐたぐ小さな命が愛しい。枡形の席で大勢の兄弟と食事してる様で、おかげでおいしくいただきました。午後の作業を終えた後には夕日に美しく、烏の“カー”で暮れることでしょう。



自然俳句栞



いぼむしり半身を抱き入るところ 和江

「いぼむしり」はカマキリの異名。末路は自分の体を食えると言う。
悲しき習性の一瞬の動きを促え見事。

稲川の鎌の刃音の昂りぬ 鈴木 末一

今年も丹精の赤米が実る。小学生のきこちない手さばきにハラハラ。

秋耕の土あらたなり鶴鶴来 秀夫

夏の収穫が了り、新たな土が蘇る。さて次の作物は何かな。

10月22日。「のらの会」浮見堂にて月見の宴。13人の侍たち美酒に酔う。

後日、私の手元に届いた名句をご披露させていただく。

水鏡にゆらり映して月二つ 八木 順一

望月に思ひを馳せて浮見堂 ”

名月に鹿さえ鳴くに神の森 塩本 勝也

名月を愛でて酒酌む野良をとこ ”

左手右手盃挙げて良夜かな 竹本 雅昭

宵闇に鹿の遠吠き酔心地 ”

望月と二人三脚水鏡 鈴木 末一

十五夜の指折り数へ浮見堂 ”

からだじゅう満月となり浮見堂 川井 秀夫

杯挙げ月の兎に懸想せる ”



- ★ 11月3日 御所の畑でウグイス鳴く。(午前9時～午後4時) 一昨年同じ時期に自宅(檀原)付近でも「ホーホケキョ」。近所の人もびっくり。「11月よ…今」「そうなの 秋も鳴く時があるのよ」。
- ・畑の雨水貯めのペールに夏から無断でオタマジャクシが住み着いて今 5、6匹。後ろ足がでてきたのもいて「早くカエルにならないと冬眠できないよ」…大家としては心配です。
- ・11月13日 久し振りにキジが鳴きながら飛び立つのを見たし ツグミも今冬初めて… 良い日でした。(斎藤)
- ★【斑鳩より】11月1日ツグミを見ました。2日に最後のコシアカツバメでした。今年は帰るのが遅かったです。7日龍田川を渡っているサルを見ました。私の方へ来たので、慌てて逃げました。一人だと怖かったです。役場へ知らせたら後2件の目撃情報が寄せられていたそうでした。カメラを持ってなかったので残念でした。(勝田)

行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止

※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

『ならやま里山林プロジェクト12・1月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

日時

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 12月 2日(木) | 活動日・新蕎麦祭り(ノーマイカー・ディ) |
| 12月 9日(木) | 活動日 |
| 12月16日(木) | 活動日 |
| 12月18日(土) | 芋煮会・実習生受入れ(ノーマイカー・ディ) |
| 12月23日(木) | 迎春準備 |
| 1月 6日(木) | ならやま初出・新年会 |
| 1月13日(木) | 活動日 |
| 1月20日(木) | 活動日 |
| 1月27日(木) | 臨時山の日 |
| 1月29日(土) | 活動日・実習生受入れ |
| 1月31日(月) | 雨天予備日 |

集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時
交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行 (平日・土曜)
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:32発 JR奈良行(平日)
8:30発 JR奈良行(土曜)
①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など

- ・弁当、飲み物、軍手(作業用具は現地にて用意)、寒さ対策
- *環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

活動内容

- ・里山整備、環境整備、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸作り
- ・復元した田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り
- ・「市街地にある里山」を体験する各種イベント

12/2(新蕎麦祭り) 12/18(芋煮会)ではアルコール類を出しますので、
「マイカーは禁止」といたします。

連絡先: 担当幹事 古川祐司 鈴木



「そば処 ならやま」へお越し下さい! ※12月2日「新そば祭り」開催。

ならやまフィールドで「そば」を「作り、打って、食べよう!」という趣旨で、今年4月「ならやま・そば文化クラブ」が発足しました。現在会員19名で、毎月2回、そば打ちを研修してきました。いよいよ「ならやま」の今年の新そばが収穫されました。みなさんに、作りたて、打ちたて、茹でたてのそばの本当のおいしさをご賞味いただこうと「新そば祭り」を開催します。当日は、フィールドの活動日ですが、12時頃から開催します。『そば処 ならやま』へお越し下さい。

日時; 12月2日(木) 12時頃より。

場所; ならやまフィールド(前日19時のNHK予報で午前中降水確率60%中止)

参加費; 500円 (ならやまで栽培した「赤米」のおにぎりなども予定しています。)

担当連絡先; 古川祐司(

寺田 孝

12月例会

『晩秋の「西の京」を巡り、忘年会でこの1年を語りあいませんか!』

- 日 時： 12月6日(月) 10時30分～18時
集 合： 近鉄西ノ京駅東側改札口 10時30分
行 程： 薬師寺—唐招提寺—垂神天皇陵—喜光寺—菅原神宮—西大寺—秋篠寺
忘年会： 「味楽座西大寺店」16時～18時 電話 0742-49-1359・近鉄ビル1F
近鉄西大寺駅南口を出て線路沿いに奈良方面へ歩いて5分。京都銀行近く。
会費 男性 4500円、女性 3500円
雨 天： 前日午後7時前のNHK天気予報で午前降水確率60%以上は、忘年会のみ。
その他 「お寺めぐり」「忘年会」どちらか一方のみの参加も大歓迎です。

担当連絡先 塩本 勝也

寺田 孝

☆ならやま・バードウォッチング

★日 時： 12月13日(月) 9:00時集合 <毎月第2月曜日>

☆集合場所： ならやま駐車場

★小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。

☆担 当 者：小田 ・菊川

<1月の予定>

【例会の予定】

平成23年 新春講演会 ご案内

平城遷都1300年祭も終わり、古都奈良の街も新年を迎える準備の頃になりました。
恒例の新春講演会は平城遷都で活躍した藤原不比等の三女で、聖武天皇の御后・光明皇后の
足跡を奈良大学 元学長 水野正好 先生にお願いして特別講演会を開催いたします。
ぜひ共にご参加をお待ちいたしております。

日 時	： 平成23年1月22日(土) 午前10時より
集 合	： 奈良市中部公民館 奈良市上三条町23-4 ☎ 0742-26-6506
講 師	： 財団法人 大阪府文化財センター 理事長 水野 正好 先生
演 題	： 『篤く仏を信じた光明皇后』 (am 10:00～)
午 後	： 奈良県「なら枯れ」発生現場 観察会 奈良市川上町 (pm 1:00～)
担 当	： 阿部和生 弓場 厚次

平成22年11月度幹事会報告

日 時；平成22年11月2日（火）18：00～20：10

場 所；中部公民館

出席者：幹事16名 顧問1名 計17名

- (1) 10月末会員数 131名
- (2) 美し近畿景観セミナー in 奈良（県主催 11月16日）で、阿部会長事例報告。
- (3) 新プロジェクト「佐保自然の森」の整備案を県に提出・説明し、了承を得た。
- (4) 来年度の基本計画を決める「企画会議」（臨時幹事会）、1月25日（火）開催。
- (5) 1月例会「新春講演会」。1月22日（土）講師元奈良大学学長 水野正好先生。

表紙のペン画によせて

境 寛

天誅組の歴史の残る樺の木峠です。高取城攻略にことごとく失敗した天誅組は、広橋峠、栃原岳、樺の木峠に土で盛り上げた小さな砦（土塁）を築き、防御を固めるのです。

この辺りには茶店が数件あったとのことですが、天誅組の戦いの後すべてが消失したとのこと。今は民家が一軒建っています。周辺には、未だ当時の「塹壕」が残っているとのこと。

編集後記：*「なぜクマが町に出るの？」と題したシンポが京都で開かれたようです。クマの餌のドングリがコナラの立ち枯れで激減。この立ち枯れも地球温暖化による南方系の昆虫の大量発生がもたらしたもの。さらにクマの重要な餌であるチシマザサも温暖化で大量枯死とのこと。「地球温暖化」も思わぬところで身近になってきているのですね。*会報発送作業・編集会議日：1月号の作業は12月27日（月）午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。年末で何かとお忙しいでしょうが、ご協力お願いいたします。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX：

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生